

ローマクラブ共同会長 名古屋大学名誉博士称号授与 記念イベント



赤崎勇



天野浩



小宮山宏



エルンスト・フォン・
ワイツゼッカー



林良嗣



飯尾歩

ローマクラブ会員とノーベル賞受賞者との対話

2016. **2/6** **土**

会場：名古屋大学 ESホール（同時通訳つき）

時間：14:30 - 17:15（開場：14:00から）

主催：名古屋大学、日本工学アカデミー

後援：中日新聞社

参加無料

どなたでも参加できます

参加を希望する方は、
お申し込みが必要です。

電子メールで、参加される方の①お名前、②職業（勤務先）、③電話番号をメール本文にお書きいただき academy@ej.or.jp（日本工学アカデミー）宛にお申し込みください。（先着順とし、お申込みが予定数に達した時点で受付を終了します。）

プログラム

14:00～ 開場

14:30～ **第1部** 名古屋大学名誉博士称号授与式

挨拶：名古屋大学総長 松尾清一

15:00～ **第2部** 記念講演

ローマクラブからの新たなメッセージ

ローマクラブ共同会長 エルンスト・フォン・ワイツゼッカー

16:00～ 休憩

16:15～ **第3部** 日本工学アカデミー・トークセッション

持続可能な未来のための知恵とわざ

ローマクラブ共同会長 エルンスト・フォン・ワイツゼッカー

名古屋大学特別教授/名城大学終身教授 ノーベル物理学賞受賞者 赤崎勇

名古屋大学教授 ノーベル物理学賞受賞者 天野浩

日本工学アカデミー会長 ローマクラブ・フルメンバー 小宮山宏

コーディネーター：名古屋大学教授 ローマクラブ・フルメンバー 林良嗣

中日新聞論説委員 飯尾歩

*進行状況により終了時刻が多少前後する場合があります。

お問い合わせ

名古屋大学大学院環境学研究科庶務係 TEL: 052-789-3454



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

エルンスト・フォン・ワイツゼッカー ローマクラブ共同会長 名古屋大学名誉博士称号授与記念イベント

ローマクラブ会員とノーベル賞受賞者との対話

世界を代表する生態環境学者であり、名古屋大学大学院環境学研究科に対して10年来、客員教授、グローバルCOEプログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」の国際外部評価委員などとして多大な貢献のあったエルンスト・フォン・ワイツゼッカー教授に対して、名古屋大学名誉博士の称号が授与されます。『地球環境政策』を著したほか、同教授は、「ファクター4」（豊かさを2倍にしつつ、資源消費を半減する）という概念を打ち立て、気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3、京都会議）の折に著書を刊行し、これまでに13ヶ国語に翻訳されてその思想を世界に広く普及されました。後に、単体技術からシステムによる資源消費節約へと拡張した「ファクター5」を発表し、人類の重要課題を討議し警鐘を鳴らし続けるローマクラブの共同会長も務めておられます。

折しも2014年には、資源消費を大幅に削減する技術であるLED照明のために必須の青色発光ダイオードを発明した功績に対し、日本工学アカデミー会員である赤崎勇名古屋大学特別教授／名城大学終身教授、天野浩名古屋大学教授が、ノーベル物理学賞を授与されました。

このような世界でも稀有な人材が交わる中部地区における日本工学アカデミーの活動の一環として、フォン・ワイツゼッカー教授への名誉博士号授与に合わせてその記念の講演会とトークセッションを企画しました。講演会では、フォン・ワイツゼッカー教授から「ローマクラブからの新たなメッセージ」と題して資源・地球環境問題への対応について講演を頂き、トークセッションでは、ファクター4を実現する青色LEDの発明によりノーベル物理学賞を授与された赤崎教授、天野教授、そしてローマクラブ・フルメンバーでありそれぞれ未来のプラチナ社会、高齢社会に備えた都市のスマートシュリンクを提唱する小宮山宏日本工学アカデミー会長、林良嗣名古屋大学教授（コーディネーター）、そして飯尾歩中日新聞論説委員（コーディネーター）が加わって、地球環境問題への対応理念、技術、そしてあるべき将来社会の姿について、語り合います。

エルンスト・ウルリッヒ・ フォン・ワイツゼッカー 教授

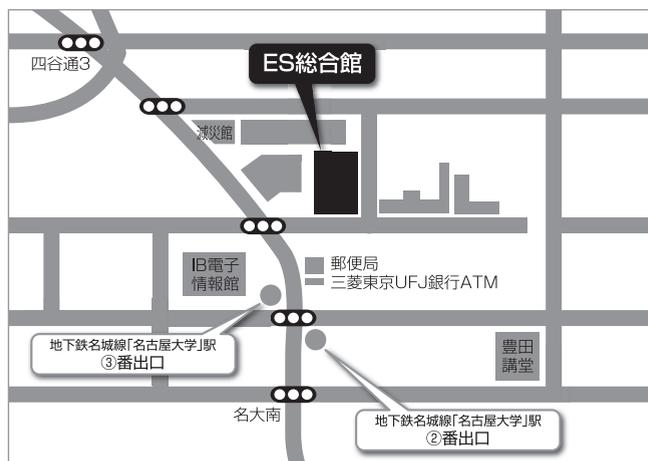
Ernst Ulrich von Weizsäcker



エルンスト・ウルリッヒ・フォン・ワイツゼッカー教授（Ernst Ulrich von Weizsäcker）は、1939年生まれ、現在「成長の限界」で有名なローマクラブの共同会長で、国連環境計画（UNEP）国際資源パネル共同議長も兼務していた。その経歴は、ドイツ・エッセン大学生物学教授を皮切りに、36歳でカッセル大学学長、その後、国連科学技術センター所長、欧州環境政策研究所長、地球環境政策を研究するヴツパータール研究所の創設所長に就任。メルケル環境大臣（当時）の指南役としても知られる。その後、ドイツ連邦議会議員（SPD、社民党）に選出され、連邦議会環境委員会の委員長としてドイツが今日の環境王国となる基礎を築く。また、カリフォルニア大学最大の寄付者ブレン氏に請われて、サンタバーバラ校ブレン環境科学・マネジメントスクール院長なども歴任。多くの著作があるが、特に京都会議COP3前に書かれた「ファクター4：豊かさを2倍に、資源消費を半分に」は13カ国語に翻訳され、全世界に知られる。ドイツ連邦共和国功労勲章、ドイツ連邦環境賞授賞。妻のクリスティーネ女史（生物多様性を専門とする環境学者）との間に5人の子と7人の孫がいる。統一ドイツ初代大統領のリヒャルト・フォン・ワイツゼッカーの甥にあたる。（文責：林良嗣）

●参加（無料）申し込み方法

電子メールで、参加される方の①お名前、②職業（勤務先）、③電話番号をメール本文にお書きいただき academy@ej.or.jp（日本工学アカデミー）宛にお申し込みください。（先着順とし、お申込みが予定数に達した時点で受付を終了します。）



●交通のご案内

地下鉄名城線「名古屋大学」駅2・3番出口より徒歩2分。駐車場は準備していませんので、公共交通機関をご利用ください。

●お問い合わせ

名古屋大学大学院環境学研究科庶務係
TEL：052-789-3454